



12月 園だより

令和7年12月1日
目黒区立原町保育園園長

先月の運動会は、心配した前日の雨も止み碑小学校の校庭で行うことができました。広い校庭でしたが、保護者の方々の応援がより一層子どもたちのやる気をアップさせ、支えてくださったのだと思います。ありがとうございました。

運動会以降、幼児クラスは交通安全教室、くすのき組（5歳児）は近隣園とのドッチボール大会、向原小学校の群読発表会見学と保育園外の人たちとの交流がありました。5歳児のドッチボール大会は、まずそれぞれの自己紹介の挨拶から始まり、人数の多い自園が私立園の人数に合わせて人数調整をして対戦しました。日頃から対戦経験が多い分くすのき組が勝ちましたが、自園も私立園の年長児にとってもいろいろな友達との交流の機会になりました。今後も人との関係の広がりへと繋がっていく活動を考えていきたいと思っています。

ご家庭でも年末年始は、日頃お会いできない方に会ったり、行けないところへ出かけたり、おうち時間をゆっくり過ごしたりといろいろな過ごし方をされると思います。元気に楽しい時間を過ごせますよう願っています。今年も園運営にご理解ご協力いただきましてありがとうございました。



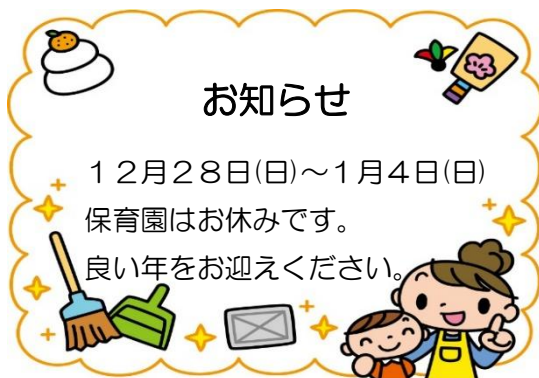
乳児お楽しみ会(0～2歳児クラス)
鏡餅・花餅作り(5歳児クラス)
避難訓練、身体計測

お知らせ

12月28日(日)～1月4日(日)

保育園はお休みです。

良い年をお迎えください。



【じゃれつき遊び】

遊びの中で友達や保育士とのスキンシップ、一緒に体を動かすことを楽しめる「じゃれつき遊び」に取り組んでいます。今回は遊びの内容や様子を紹介します。



【0～2歳児クラス】

保育士にくすぐられたり、わらべ歌に合わせて一緒に体を動かして、心地良さそうな表情を見せたり、ケラケラと笑う姿が見られます。



【3～5歳児クラス】

腹這いの子どもたちの上に保育士が乗って『脱出ゲーム』をしています。保育士が乗るだけで歓声上がり、ずり這いで楽しそうに脱出しています。くすのき組は苦戦する友達に気付いて手伝いに行っていました。



「運動会を終わって」



さくら組(3歳児) 「楽しかった運動会」

運動会では探検隊になりきり、様々なことに挑戦してきました。中でも探検のダンスが大好きで運動会を終えた今でも戸外遊びの前の準備体操として、子どもたちが先生役になり前へ出てみんなで探検ダンスを踊っています。先日、運動会でぽぷら組がやっていた「ケンケンパー」のフープジャンプの動きを再現しようとフープを並べて遊んでいました。「ケンケン」の片足ジャンプに挑戦したのですが、苦戦する子もいました。どうするのか見ていると「グーパーグーパーの両足ジャンプならできるよ」とぽぷら組になった気分でもフープの中でジャンプをすることを楽しんでいました。また、くすのき組が披露したリズムのスキップはさくら組でも大人気です。散歩先の広場で「スキップやりたい！」と友達と一緒に憧れのくすのき組の動きを真似て楽しそうです。運動会を通して頑張ったことや、できるようになった喜びが次への意欲に繋がってきています。これからも子どもたちの喜びや達成感に共感しながら、様々な経験を積み重ねていきたいと思っています。



ぽぷら組(4歳児) 「憧れのくすのき組」

くすのき組の運動会の演技を見てから「やってみたい」と園庭にあるフープを持ってきて真似て遊んでいました。その後ホールでくすのき組と運動会ごっこをすると、一緒に踊ることを心待ちにしていた子どもたちはくすのき組とペアになり、お兄さんお姉さんの動きを真似て嬉しそうに踊っていました。憧れていたくすのき組のフープダンスを踊ることができ「楽しかった!」「もう一回やりたい!」と目を輝かせて喜んでいます。「もう一回やりたい!」のリクエストに応じて、今度はぽぷら組だけでフープダンスに挑戦しました。フープを使った亀のポーズやペアの子と足の裏を合わせて高く上げる富士山、円になる隊形移動など踊り終わると「楽しかったけど、難しかった」と実際にやってみたことでくすのき組の巧みな体の使い方を実感したようです。そして、「くすのきになったらリレーやりたいね」と憧れの気持ちがさらに高まっているようでした。



くすのき組(5歳児) 「みんなで運動会」

運動会当日は小学校の広い校庭と大勢の観客を前に緊張しつつも楽しんで競技を行い役割も果たしていました。「運動会でかっこいいところを見てもらいたい」という思いで取り組んできたことが力となっていたようです。運動会が終わった後も色々なクラスと運動会ごっこをして余韻を楽しんでいます。

さくら組やぽぷら組からはくすのき組のフープダンスと一緒に踊りたいとリクエストがあり、一緒に踊ることを楽しみました。一緒に踊りながら「足を上げて」、「ここはこっちの手にフープを持つよ」など教える姿が誇らしげです。いちよう組との交流では、ジャングル探検の中でフープに入れなかったいちよう組の子に「おいでー」と自分のフープに誘ったり、フープをあけるために友達と1つのフープと一緒に入って「ここあいたよー」とあいたフープを教えるなど優しく関わる姿がありました。



運動会を通して、友達と協力してできた喜びや自分が取り組んできたことを実現できた達成感だけでなく、年下の子からあこがれの存在となっていることも自信となっています。